

みらい



No.8

主な内容

平成30年

9月議会・10月議会
12月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者/渡部 英治 ■ 編集責任者/三浦 茂人

橙(だいだい)ミカン科、常緑小高木
初夏に香りのある白い花が咲く。実は冬に熟すと一度黄色になるが落下せず翌夏に再び緑になる。別名「回青橙」。次の世代の実と同時期に木に成ることから家が大きく栄える象徴とされた。正月の鏡餅に橙(代々)と、葉の裏が白く左右が対になったシダ「裏白(うらしろ)」を敷くのは、後ろ晦いところがなく寧ろ隆盛、夫婦円満の願いが込められている。

県民の幸せと県政発展のため 本年も全力で頑張ります!



秋田県議会 会派みらい 代表
議会選出監査委員
教育公安委員会委員



渡部 英治

2019年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は統一地方選挙の年に当たり、4月には県民の皆様から審判をいただくこととなります。

今こそ秋田の再生をめざし、県政の最重要課題である人口減対策、とりわけ「若者の定着」や「子育て支援」「農業の振興」等の重要施策、そして「イージス・アショア」(地方イージス)の配備についても真正面から果敢に取り組んでいく覚悟であります。

平成30年12月議会 一般質問

私たち「みらい」は県議会第2会派として、一党一派に偏せず是々非々を基本スタンスに、県民の幸せと県政発展のため、県民が納得できる県政運営を図られるよう、本年も全力で頑張ります。

本年も引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。



9月議会

平成30年・第2回定例会
9月10日～10月5日

今回の補正予算は、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、ブロック塀に対する安全対策、公共事業等について計上しました。

9月補正予算の主な内容

●新社会的要因等による少子化調査・分析事業

…………… 772万円

それぞれの地域特性に応じた、より効果的な少子化対策を推進するため、少子化に影響を与える様々な要因を詳細に調査・分析する。

- ①少子化要因調査・分析事業 (526万円)
- ②少子化・子育て支援に関する県民意識調査事業 (246万円)

●県・市連携文化施設整備事業

[継続費 平成30～33年度] … 211億2,840万円

現在進めている実施設計を踏まえ、本体工事、駐車場整備、外構工事等を行う。

●ブロック塀安全対策事業 …… 1億 907万円

県有施設における現行の建築基準に適合しないブロック塀の撤去等を行う。

平成30年度 一般会計 補正予算 13億 9,901万円
補正後の規模 5,984億 741万円

●航空機システム電動化研究推進事業 …… 1,000万円

航空機システムの電動化に向け、航空機用モーターの製作と評価を県内で一貫して実施するため、産学官による共同研究活動を支援する。

●新 AKITA スノーリゾート推進事業 …… 4,472万円

- ①台湾冬季誘客促進事業 (1,915万円)
- ②韓国冬季誘客促進事業 (1,800万円)
- ③AKITA スノーリゾート魅力発信事業 (757万円)

●新 中国からの北東北周遊商品造成促進事業 … 991万円

中国からの誘客を促進するため、青森県、岩手県との連携により、北東北周遊商品の広告支援等を行う。

9月議会 一般質問



東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イーゼス・アショアについて
- ◆ 防災対策について
- ◆ 障害者雇用について
- ◆ 林業の振興について
- ◆ 産業振興と人材育成について

吉方清彦 (よしかた せいげん) [能代市山本郡]

- ◆ 在宅医療の推進について
- ◆ 消防団員の確保について
- ◆ 木材産業の振興について
- ◆ 洋上風力発電について



9月議会 総括審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ イーゼス・アショアについて
- ◆ 新スタジアム整備構想について
- ◆ 観光振興について



佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イーゼス・アショアの配備について
- ◆ 県・市連携文化施設の駐車場について
- ◆ 交通女主対策について

10月議会

平成30年・第2回定例会
10月16日～11月2日

今回の補正予算は、昨年発生した大雨被害に係る災害復旧関連事業の本格化に伴い、技術者不足等による入札不調が例年以上に発生していることを踏まえ、公共工事を適切な工期で早期に発注するために必要な繰越明許費について計上しました。

10月補正予算の主な内容 (11月2日追加提案)

- 国庫補助事業 (河川改修事業、災害関連事業等) …… 107億 9,322万円
- 県単独事業 (県単河川改良事業、県単道路補修事業等) …… 6億 5,200万円

繰越明許費

114億 4,522万円

12月議会

平成30年・第2回定例会
11月27日～12月21日

今回の補正予算は、昨年7月及び本年5月の大雨による災害復旧対策事業、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上しました。

12月補正予算の主な内容

- **災害復旧対策事業** …… **6億5,000万円**
被害を受けた土木施設の復旧とあわせ、今後の災害防止のための改良復旧を行う。
- **6次産業化施設整備事業** …… **5,000万円**
農山漁村の所得や雇用の増大、地域活力の向上を図るため、農林漁業者等の6次産業化に向けた取組を支援する。
- **医療提供体制整備費補助事業** …… **6,107万円**
がん診療連携拠点病院等が行う設備整備に対し助成する。
- **教育施設除去事業** …… **1億4,956万円**
旧大館工業高校の教室棟・体育館の解体等を行う。

平成30年度

一般会計 補正予算 **44億6,874万円**
補正後の規模 **6,028億7,615万円**

- **地方独立行政法人秋田県立病院機構支援事業** …… **18億9,123万円**
 - ①旧成人病医療センター解体事業 (7億6,439万円)
秋田県立病院機構が行う旧成人病医療センター解体工事等に対し助成する。
 - ②脳血管研究センター医療機器整備事業 (11億2,684万円)
脳血管研究センターの新棟建設に伴い同機構が実施する医療機器の整備に対し助成する。
- **地域医療介護総合確保基金積立金** …… **23億2,522万円**
地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。

12月議会 一般質問



渡部英治 [大仙市仙北郡]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 交通インフラの整備促進について
- ◆ 農業振興政策について

佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアの配備について
- ◆ 東欧のイージス・アショアについて
- ◆ 陸上自衛隊新屋演習場について



12月議会 総括審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 外旭川地区複合商業施設の構想について



吉方清彦 [能代市山本郡]

- ◆ 外国人労働者の在留資格と技能実習制度について
- ◆ 県内の高校生からの提言について



決算 特別委員会

一般会計および特別会計の決算について審査

副委員長として委員会運営に携わりました

副委員長 佐藤 正一郎



平成30年
10月16日～11月2日

総括審査

吉方清彦 [能代市山本郡]

- ◆ 本県の米政策について
- ◆ 在留外国人の子供への支援について



渡部 英治の 県議会レポート



今回は『人口減少対策』『秋田新幹線の新トンネル整備』について質疑の概要(抜粋)を報告します。

●人口減少対策について～知事の本気度について～

12月議会
一般質問での再質問

渡部

知事の公式ウェブサイトには、「地に足を付けて着実に、時には思い切って大胆にやります」と掲載されている。改めて確認するが、人口減少対策に対する知事の姿勢に変わりはないか、知事の本気度を伺う。

知事

私は知事に就任以来、様々な課題の解決に、スピード感を持って全力で取り組んできた。「3期プラン」では、人口減少の克服を最重要課題と位置付け、“オール秋田”で取り組んでおり、施策・事業の実施に当たっては、若者の活発な活動を支援するという視点を重視した施策を大いに取り入れていく。

●秋田新幹線の新トンネル整備について



渡部

秋田と岩手の県境は、冬期間だけでなく、強風や豪雨のたびに「こまち号」の遅れや運休を余儀なくされているため、トンネル整備は安全性の確保や時間短縮などの大きな効果をもたらすものと期待している。秋田新幹線の新トンネル整備による効果と実現に向けた今後の見通しについて伺う。

知事

岩手県境への新たなトンネル整備は、抜本的な災害対策のほか、交流人口の拡大にも効果があるため、県としても早期の事業化に向けて、JR東日本と協議を進めている。同社からは公的支援が必要との認識が示されているため、引き続き国に財政支援を要望するなど、早期実現に向けて全力で取り組んでいく。

※秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会が平成30年7月18日発足(会長:老松博行大仙市長)



知事、副知事と傍聴者との記念撮影(平成30年12月議会)